

2016年4月4日

日本アルコール産業株式会社
代表取締役社長 嶋津泰基

緊急対策の実施について

日本アルコール産業株式会社（本社：東京都中央区日本橋小舟町6-6、社長：嶋津泰基）は、以下の緊急対策を実施することといたしましたので、お知らせいたします。

- ① 当社発酵アルコール製造工場（3工場）の日産量及び稼働率の引き上げによる製品アルコールの増産体制の確保。
- ② 製造数量増加に伴い必要とされる原料の確保と韓国ウルサン原料タンクの追加貸借。

なお、当社工場はすでにフル生産を開始し、ウルサン原料タンクの備蓄能力を増強（66,000KL/年増）、商社と共同して、当面必要とされる原料の確保を完了しました。

日本アルコール産業グループは、事業法アルコールについて、発酵、合成を問わず、その安定供給の重責を担い、事業を推進してまいります。



（韓国ウルサン タンクターミナル）

（ウルサン原料タンク）